

Electric Melting and Holding Furnaces in Ironfoundries

1. 期 日 1980 年 3 月 25~27 日
2. 場 所 University of Warwick, Nr. Coventry,
England
3. 主 催 BCIRA International Conference
4. プログラム概要
MAR. 25. 1. Developments in Application and
Design
2. Vertical Channel
Induction Furnaces
26. 3. Medium Frequency Coreless
Induction Furnaces
4. AFS Exchange Paper
5. Refractory Lining Materials and
Techniques
6. Ancillary Equipment
7. Maintenance, Safety and Environ-
mental Aspects
8. International Forum
27. 9. Energy Management
10. Materials and Metallurgy

標議会議のプログラムの詳細および参加申込み要項に
つきましては本会業務部国際課あるいは、直接下記まで
お問合せ下さい。

Head of Information Services
BCIRA, Alvechurch
Birmingham B48 7QB
England
Telex : 337 125 BCIRA G

IFAC 第 8 回世界会議

(International Federation of Automatic Control
VIII Triennial World Congress)

1. 日 時 1981 年 8 月 24~28 日
2. 場 所 京都
3. 主 催 International Federation of Automatic
Control

標記会議では、次の要領で、論文募集を行つていま
す。投稿を希望される方は、論文原稿およびアブストラ
クト双方を、下記宛にお送り下さい。

1. 締 切 日 昭和 55 年 9 月 20 日
2. 提出部数 論文原稿、アブストラクト共に 4 部。
3. 体 裁
1) 論文原稿
タイプ用紙片面にダブルスペースでタイプしたもの
原稿の長さは 4000 語以内、10図以内、英文。
2) アブストラクト
論文原稿とは別のタイプ用紙にダブルスペースで約
100 語、英文、題目、氏名
4. 構成 提出される論文原稿は次の項目順に執筆下
さい。
1) 題目
2) 著者の氏名、職業、通信先
3) アブストラクト
4) 緒言、本文、結論
5) 文献
5. 提出先 〒606 京都市左京区吉田河原町 14
近畿発明センター内 IFAC/81 事務局
詳細につきましては、提出先に直接お問合せ下さい。

~~~~~  
書 評  
~~~~~

石炭と重質油、その化学と応用

神谷 佳男, 真田 雄三, 富田 彰 共著

オイルなしの製鉄所あるいは重質油の製鉄への利用等が、今日製鉄研究者にとって、本格的な研究課題になつてい
る。しかしこの新しい課題にどこから取り組むか、どこに出発点を求めるかに迷っているのが実状ではないかと思
う。この本はその迷いにたいへん有効な糸口を与えてくれよう。

従来から石炭や重質油のガス化ないし液化のプロセスについての解説資料は数多くみられるが、本書はそれらと異
なつて、石炭と重質油が何であるかというキャラクター化とその解析手法の解説に前半の紙数が費やされて
いる点がいへん特徴的である。このことは石炭、重質油は分子構造的に混合物であつて、構成成分に単離して同定
することはほとんど不可能であることから重要なことである。後半は重質油、石炭の熱分解および水素化分解の基本
化学反応の特性について解説し、その前提に立つて液化、ガス化プロセスを総合的に見直している。これから石炭、
重質油の研究に本格的に取り組もうという人にとっては格好の参考書となろう。(原 行明)

(講談社, B 5 判, 246 ページ, 定価 2900 円)